

制度があり、それが使える風土や
雰囲気を作ることが大事だと思います。

積水ハウス株式会社 前橋支店

■〒379-2154 群馬県前橋市天川大島町 2-15-7
 ■TEL.027-226-7272
 ■http://www.sekisuihouse.co.jp/

●本社 女性活躍推進グループ長 佐山加奈子さん
 ●前橋支店 田島亜衣さん・細谷侑衣さん(第二子育児休業中)



Q 御社は女性活躍に向けた独自の取り組みをなさっているとお聞きしています。具体的に教えてください。

A (佐山女性活躍推進グループ長) 当社では、二〇〇八年一〇月に「女性活躍推進グループ」を発足させ取り組んでいます。

女性営業職への取り組みということでは、全国の女性営業社員が集まる会を、定期的に開催しています。この女性交流会では、事例発表や社長表彰が行われ、そこで女性営業社員のネットワーク作りもできているのではないかと思います。

また、将来の女性社員のモデルとなるような、成果を出している女性営業社員については、個別契約対応による両立支援を行っています。例えば、会社の定休日は平日ですが、家庭との両立がしやすいように、定休日を日曜日に個別に入れ替えるという形をとったりしています。

大事なのは、個人のわがままで定休日の入れ替えを行っているのではなく、後に続く女性営業社員に「両立できるんだ」「うちの会社はそこまでがんばれば支援してくれるんだ」という希望を持ってもらうことなんです。一人の個別契約が、あとの一〇人一〇〇人の安心に、つながっていくということです。

Q 田島さん、細谷さんはそのような制度もあって、安心して育児休業を取得されているのですよね。

A (田島さん) そうですね、両立

支援などの個別対応がなければ、自分は、仕事を続けたくても続けることができなかったのではないかと思っています。一人目の育休から復帰したときは、すぐプレッシャーがありましたけど、復帰してよかったと思っています。

(細谷さん) 私は今、二人目の育児休業中ですが、ちょうど今日、支店長の復帰前談があったんですよ。

(佐山グループ長) 仕事に復帰する一、二ヶ月前に、支店長とコミュニケーションがとれる場を設けています。不安なことや、保育園のことなど、あらかじめ気になっていることを書き込めるシートを用意し、それを元に面談をしています。

(細谷) こういうシートを用意していただいたことで、自分も思いついたことをどんどん書けたので、すごくコミュニケーションがしやすかったです。

Q 積水ハウスさんには女性が活躍できる土壌が本当にたくさんあるのですが、仕事で活躍するにあたって、もし最も重要なものを一つ挙げるとしたら何でしょうか？ 制度だけでなく、どのようなことでも。

A (田島さん) 人間関係です。(細谷さん) 私も同じです。人間関係です。

(佐山グループ長) 制度があって、それが使える風土とか雰囲気を作っていくことが大事だと思います。それは女性本人が周りに認められる仕事の仕方

をしたり、周囲の理解も必要だと思います。制度があるからいいというものではなく、やはり、仕事をしっかりした結果が、仕事に戻ってきて欲しいという周囲の思いにつながっているんだと思います。



学生の声

現在、育休中の田島さん、細谷さんがインタビューに答えてくださり、実際に育休を取得するまでどのような苦労や周りのサポートがあったかを知ることができました。また、本社から女性活躍推進グループ長の佐山さんにも来て頂きました。制度面を整えるだけでなく、実際に取得しやすい雰囲気づくりに尽力し、復帰前談や制度面だけでは補えない個別の事例への対応など、女性の働き方に柔軟に対応しているところが非常に印象的でした。